



祖師谷

学校だより No. 8
 令和7年10月31日発行
 世田谷区立祖師谷小学校
 校長 小俣 和也

相手の気持ちを考える

10月5日の運動会にはたくさんの保護者、地域の皆様に参観していただきありがとうございました。前日が予定日でしたが、予報では午前中から雨が降る可能性がありましたので、ぎりぎりの判断で翌日に延期いたしました。そのため、ご都合のつかなくなったお子さんや保護者の方がいらっしやいましたが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本番では、練習を重ねた表現活動、1, 3, 5年生の団体競技、2, 4, 6年生の徒競走、応援合戦や全校大玉送り、中学年・高学年リレーなど、それぞれの種目で頑張る姿に大きな声援が送られました。総合点で1点差での勝負は私も初めてのことでしたが、両チームの激闘の結果と言えるでしょう。当日は、PTAの皆様へ受付、巡回などで多大なご協力をいただきましたことに感謝いたします。

さて、運動会の後、10月には4年生の学習で外部の方にお越しいただいた出張授業が2回ありました。

1回目は通販会社による授業で、2つの内容がありました。体育館で行った内容は、『生まれてくる子どものためにぬいぐるみを注文したら足の部分が壊れていた。そのお客さんに喜んでもらうためには、商品を交換するだけでなく他に何をしたらよいか。』という課題でした。「手紙を付けるといいんじゃない。」「生まれてくる子が喜ぶものを付けたらどうかな。」など、子どもたちは個人やグループで考えていました。教室で行った内容は、『友達に好きな色や好きなことなどを聞いて相手の好みを知り、相手が欲しいな、いいなと思うTシャツをデザインします。それはすでに存在する物ではなく、オリジナリティのある物にします。』というものです。つまり、相手が欲しいなと思うもので、他にはない物を考える、ということです。自分が好きなことをデザインするのではないので、悩む姿が見られました。

2回目の出張授業は、ラグビーの社会人チームによる授業でした。子どもたちは慣れないラグビーボールでのパス体験の後、『今やってみてうまくいったことと、もっと良くするにはどうしたらいいのかを考えよう。』という課題ができました。それには、「相手が取りやすいところに投げる」「投げたらすぐに構える」などが出されました。

二つの出張授業に共通することとして「相手のことを考える」「現状に満足しない」ということがあげられます。通販会社では、「目に見えない相手に対して『交換する』だけではなく、さらに喜ぶことを考える」。スポーツでは、「チームで戦うとき現在の技能に満足せず、さらに上手になるには何をしたらいいかを考える」ということです。このような学びは、大人になったとき社会の中で仕事や生活をするうえで大切なキャリア教育になります。小学生の時から、このような力を少しずつ付けて、さらに伸ばして行ってほしいと思います。

【重点目標の取組について】

よく考え進んで学習する	明るく思いやりのある	進んで体をきたえる
<p>大型布絵本の会 読書旬間</p> <p>10月27日に本校の体育館で「大型布絵本の会」の読み聞かせがありました。どの学年も物語の面白さと読み手の方々の工夫に魅了され、布絵本に魅入られたように聞き入っていました。</p> <p>また、11月18日からは読書旬間が始まります。読書の秋です。子どもたちの読書への熱がますます燃え上がることを期待しています。</p>	<p>運動会・学習発表会での係活動</p> <p>先日の運動会では、高学年の児童が運動会を成功させようと自分たちの出る種目だけでなく、係活動でも活躍しました。</p> <p>このように、子どもたちはより良い学校を自分たちで作っていきと、日々頑張っています。今度の学習発表会でも、縁の下の力持ちとして活躍してくれることでしょう。</p>	<p>運動習慣の定着</p> <p>運動会が終わった後も、週末に「そしがやエクササイズ」に取り組んだり、休み時間に元気よく外遊びをしたりするなど、運動に親しんでいます。学校外でも、涼しい気候である「スポーツの秋」に積極的に運動し、体力を高めて行ってほしいです。</p>